



どうしておとなにならないといけないのですか？

校長 橋元 忠史

校長室前の「あのね箱」には、子どもたちからの色々な問いや相談が入ってくる。質問に対しては必ず、返事を書いて渡している。ふつう、すぐに書き出すのだが、この時は少し悩んで、そして考えることを楽しみながら、時間をかけて返事を書いた。それは、次のような1年生からの問いであった。

「ぼくはこどものままでいたい。どうしておとなにならないといけないのですか？」

〇〇さんへお手紙ありがとう。とても嬉しかったです。人はみんな、同じように成長しますよね。世の中の人々が全て、子どものままだとどうなりますか。大人が一人もいない子どもだけの世界です。どうですか？（誰も運転できない。料理も作れない。働けない……。そんな世界で生きていけるかなあ？）

また、もし同じクラスの友達が、みんな大きくなり、できることや考えることが増えていくのに、自分だけ、小さいままで今と変わらないとするとどうでしょう。怖くないですか？悲しくないですか？

子どものままでいたい！という気持ちは先生もとてもよく分かります。でも安心してください。明日、急に大人になるなんてことはありませんよ。ちょっとずつ、ちょっとずつ心も体も大人に近づいていきます。そのうち、早く大人になりたい！と思う日が来るかもしれませんね。それまでは子どもをたっぷり楽しんでくださいね！

それとあんな大人になりたい！と思える人を探してみてください。きっと、誰かそんな素敵な大人がいるはずですよ。それにしても1年生でこんなはてな(?)を考えられる〇〇さんは素晴らしいです。応援していますね！橋元校長先生より(原文はひらがな書き)

マイ・ルールとして手紙には手紙で、つまり文通という形でやりとりをすることにしている。だから、この子がこの返事をどう感じ、どう受け取ったかは対話したわけではないので正確には分からない。でも、それでいいと思う。

私にできることは、どんな問いであっても子どもが一生懸命考え、勇気をもって投げかけてきた問いに対しては、真剣に、そして真摯に考えて返事するということだけ。何が正解か明確ではないことも多いこの世の中。我々大人も手探りで生きていると感じることも多い。でも、明るく前を見据える姿を見せたい。そして、まっすぐ子どもたちと向き合う大人でありたいと願う。新年になり1ヶ月が過ぎようとしている。今日も校門での挨拶時にマスク着用にもかかわらず目だけでハートをスマイルに乗せて送ってくれる子がいる。「おはようございます。」に一言「いつもありがとうございます。」と添えてくれる子がいる。そんな時、私の脳裏にはフラワーカンパニーズの『深夜高速』の歌詞がこだまするのである。「生きていてよかった～生きていてよかった～」と。

～美しさのあらわれる教育活動の推進～

● 附属小のリーダーとして～委員会活動での5年生の活躍～

1月23日に、委員会活動が行われました。この委員会活動から、次年度への引き継ぎを考えて、多くの委員会で進行等を5年生が行いました。

委員会活動の5年生の様子を見てみると、話し合い活動の進行や板書を行ったり、活動中、周りの仲間に声掛けを行いながら取り組んだりする姿が見られました。以下の文は、進行を行っていた子どもや活動に進んで取り組んでいた子どもの感想です。



【中心になって委員会を進行する5年生の姿】

- 少し、緊張したけれど、6年生をお手本とし、6年生がやっていたように進めることができました。
- 役割分担をしっかりと、委員会の仲間と協力して取り組むことができています。

このように、自分の役割を責任をもって果たしていこうとする意欲の高まりを感じました。

この委員会活動のように後期後半は、6年生を送る会や卒業式の準備など、5年生が6年生に代わって附属小学校を引っ張っていく活動が位置付けられています。わたしたちは、これらの活動の中で、5年生の役割や責任を意識した姿を価値付けていながら、附属小学校のリーダーとして資質を培ったり、自覚を促したりしていきたいと考えます。

● 家族のために役に立てたぞ！～1年生、家族大好き大作戦～

1年生の生活科では、家族の一員として自分にできることについて学び、実践する「家族大好き大作戦」という単元を行っています。子どもたちは、いつも自分たちのために、家族が行ってくれていることを振り返り、「今度は自分たちが、家族のために」と意欲をもって、家族が喜ぶことや家族が困っていることで自分にできることを実践してきました。そして、子どもたちが、「家族の一員として自分にできること」を発表する「家族大好き大作戦発表会」を各学級で開催する予定です。今年度は、お手伝いの様子の動画を撮影して、保護者の方に視聴してもらう形で実施します。



【学校でお手伝いの練習をする1年生の姿】

発表会の練習中、子どもたちは、少し緊張しながらも友達が撮影をしてくれているタブレットの前で、「食器洗いの手伝いをしたこと」「洗濯物たたみのお手伝いをしたこと」等の自分が家族のために頑張ったことを練習していました。練習後には、「自分にもできることがたくさんあった。」という感想や「もっと、できることを増やしていきたい。」という感想が聞かれました。発表会本番も、とても楽しみです。

このように、1年の締めくくりの時期が近づいてきました。各学年でも1年間の学びを振り返る活動を今後も行っていきます。その中で、職員は一人一人の成長を価値付け、自己肯定感を高め、次の学年への意欲を高められるようにかかわっていきたくと考えます。

【2月の主な行事】

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 8日(木) のぞみタイム中間発表会(～9日) | 20日(火) 修学旅行(～22日) |
| 14日(水) PTA理事会 | 22日(木) のぞみタイム授業参観(他校教職員) |
| PTA合同専門部会 | 29日(木) のぞみタイム授業参観(他校教職員) |
| 17日(土) 授業力アップ講座 | ※13日(火) は授業力アップ講座の振替休日となります。 |